

# 市民に山に親しむイベントを提供した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：大竹市

## 取組のきっかけ・経緯

・ひろしま「山の日」県民の集いに、2015年に大竹市が参画した際、子どもからお年寄りまで、楽しみながら森林に親しんでもらおうと、イベントを行うこととした。

## 今後の展開

・今後も引き続きイベントを行うことで、市民が大竹市の山間部に足を運び、森林に対して考える機会を創造し続ける。

## 取組の内容

- ・事業主体：ひろしま「山の日」県民の集い  
大竹市実行委員会
- ・実施場所：大竹市マロンの里交流館，三倉岳自然公園
- ・来場者数：毎年延べ1500名程度
- ・開催年数：5年（2015年～）

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・市民に広く認知されるイベントとして、毎年延べ1500名ほどの市民に参加していただけるようになった。
- ・イベントだけでなく、イベント会場であるマロンの里や、三倉岳自然公園の認知度も上がり、イベント時だけでなく大竹市の山間部に足を運ぶ人が増えた。



# 地域の憩いの場を整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：大竹市

## 取組のきっかけ・経緯

・亀居公園は大竹市を代表する観光スポットで、地元住民や来訪者から、景観の保全の要望があった。そこで癒しの空間を提供するとともに、森林への意識を高めるべく、整備を行うこととした。

## 今後の展開

・竹林に関しては引き続き整備を行うとともに、森林内も適宜下刈りを行う。また、桜の植樹を市民とともに行っていくことで、亀居公園を癒しの場として提供し続ける。

## 取組の内容

- ・事業主体：おおたけの豊かな森を考える協議会
- ・実施場所：大竹市亀居公園周辺
- ・業務委託先：広島県森林組合連合会
- ・業務量：
- ・業務金額：総額900万円
- ・業務期間：平成29年度から令和元年度



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・森林を整備することで、周辺から亀居公園がみられるようになり、景観がよくなった。
- ・羅病している桜を更新したことで、今後の景観の保全が行えるようになった。
- ・副次的な効果であったが、森林整備を行ったことで猪の潜み場がなくなり、周辺の猪被害が減った。

### 【悪かった点】

- ・当初の計画に長期間の竹林整備を盛り込んでいなかった。
- ・周辺が文化財指定されていたことから、大型重機を投入することができなかった。
- ・周辺が文化財指定されているため、個人や団体が整備を行うことが難しいことが分かった。